



## 瑞穂野跨道橋の経済効果は年間7億円

～ 瑞穂野団地入口交差点立体化の整備効果～

### 記者発表資料

6月30日(土)に開通した新4号国道瑞穂野団地入口交差点立体化(瑞穂野跨道橋)による整備効果についてレポートします。

#### 効果 ; 新4号国道の渋滞が緩和

瑞穂野跨道橋開通の渋滞緩和による経済効果は年間7億円。

#### 効果 ; 周辺道路の安全性が向上

周辺道路から大型車が最大約6割転換し周辺道路の安全性が向上。

#### 効果 ; 周辺の環境が改善

渋滞緩和により、CO<sub>2</sub>:約4,400t-CO<sub>2</sub>/年、NO<sub>x</sub>:約14t/年、  
SPM:約0.8t/年削減。

#### 効果 ; 開通後、交通事故ゼロを継続中

「魔の交差点」ともいわれた瑞穂野団地入口交差点において、開通後交通事故ゼロを継続中(8月8日現在)。

#### 今後の取り組み

隣接する問屋町交差点についても、引き続き対策を実施。

平成19年8月13日

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

#### 発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ  
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

#### お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所  
副所長: 秋元 <sup>あきもと</sup> 孝夫 (内線205) 計画課長: 岡田 <sup>おかだ</sup> 雅昭 (内線301) <sup>まさあき</sup>  
住所: 栃木県宇都宮市平松町504  
電話: 028-638-2181 (代表)

効果 経済効果は、年間7億円

立体化に要した事業費を約3年で償還

瑞穂野跨道橋の開通により、車両の信号停止機会がなくなり、渋滞が緩和しました。その走行時間の節約による経済効果は、交差道路と合わせて年間7億円に上ります。立体化に要した事業費は約20億円で、渋滞解消の直接効果だけでも約3年で償還できることとなります。

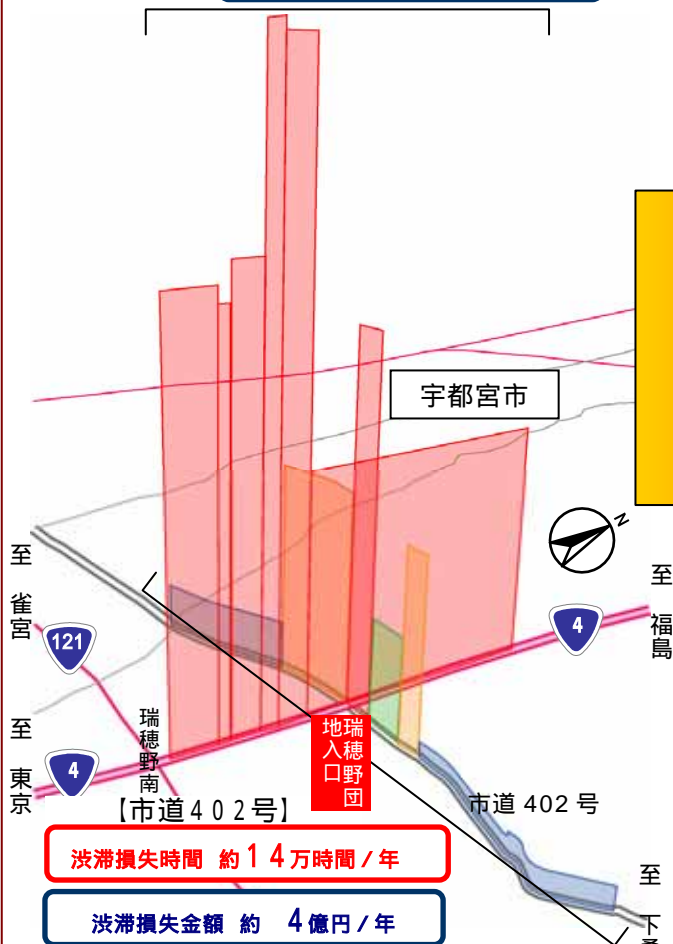
### 開通前

渋滞損失時間: 61万人時間/年  
渋滞損失額 : 19億円/年

【新4号国道】

渋滞損失時間 約46万時間/年

渋滞損失金額 約15億円/年



整備前 平成18年度プローブデータ

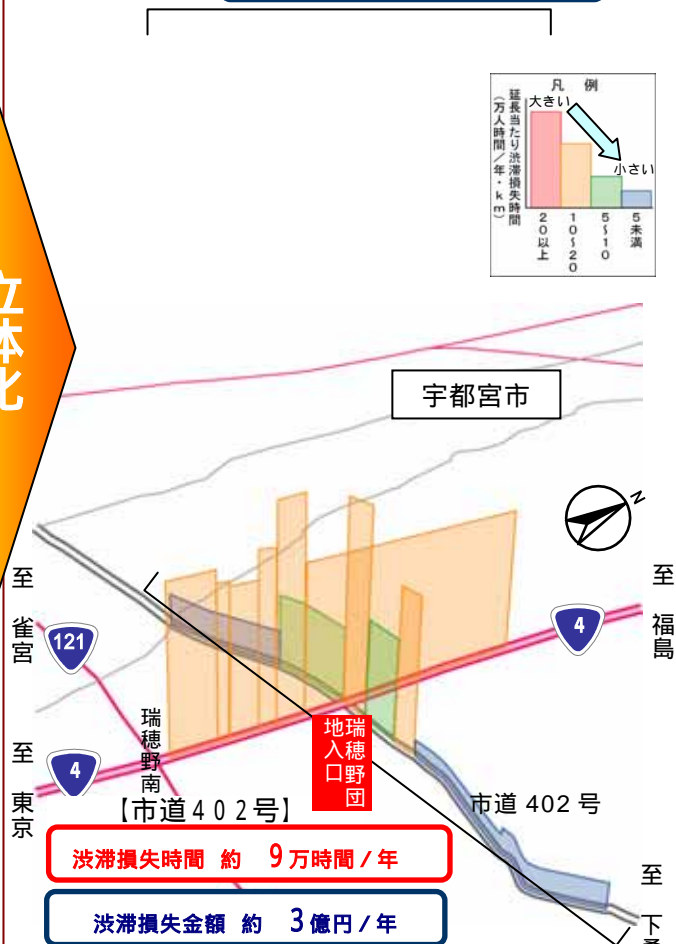
### 開通後

渋滞損失時間: 41万人時間/年  
渋滞損失額 : 12億円/年

【新4号国道】

渋滞損失時間 約32万時間/年

渋滞損失金額 約9億円/年



整備後 平成19年7月プローブデータ

立体化



# 効果 周辺道路の **安全性が向上**

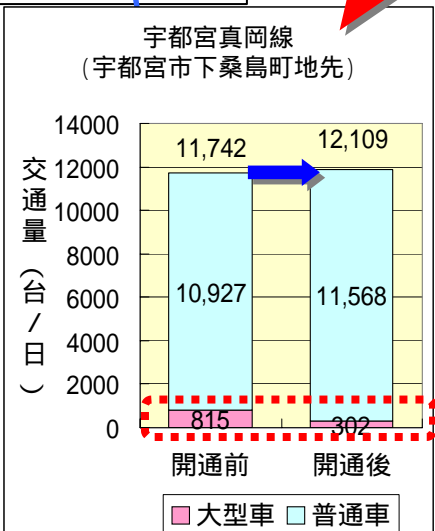
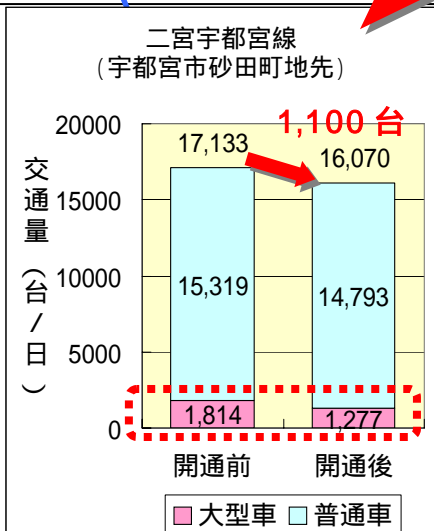
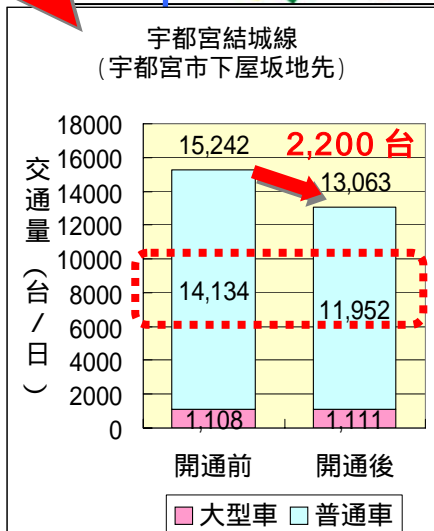
これまで、新4号国道の渋滞を避けるため、周辺道路に迂回していた車両が新4号国道に戻り、**幹線道路本来の機能を回復**しつつあります。  
 周辺道路では、**大型車両が最大で約6割程度減少**し、**生活道路の安全性が向上**しました。



全車は約2,200台減  
大型車は横ばい

全車は約1,100台減  
大型車が約3割減

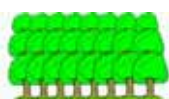
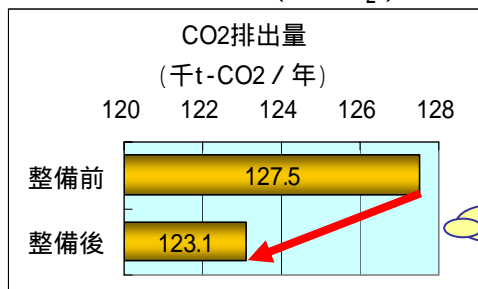
全車は横ばい  
大型車が約6割減



# 効果 周辺の環境が改善

瑞穂野跨道橋開通による渋滞緩和により、地球温暖化に影響する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が年間 4,400 トン(3%)削減されるほか、健康への環境が心配される窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)や浮遊粒子状物質(SPM)の排出も5%削減され、地域の環境改善に大きく寄与します。

## 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量



森林面積  
約 419ha



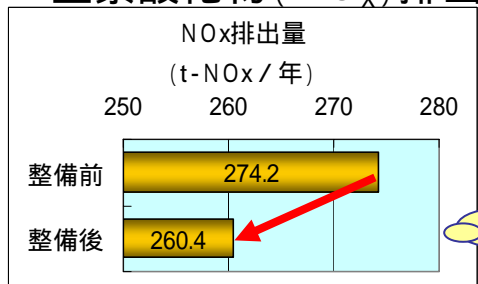
栃木県中央公園  
40 個分

CO<sub>2</sub>を  
約 4,400t-CO<sub>2</sub>/年  
(約3%)削減

この削減量は、森林面積約 419ha の二酸化炭素吸収量に相当

栃木県中央公園約 40 個分森林に相当します。

## 窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)排出量

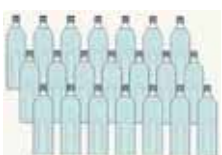
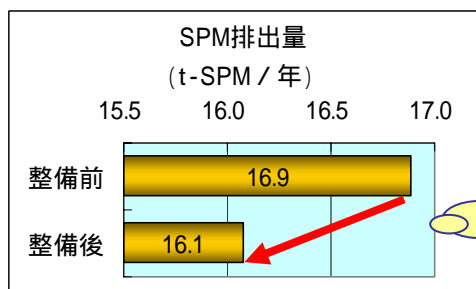


40 フィート背  
高海上コンテナ  
95 台分

NO<sub>x</sub>を  
約 14t/年  
(約5%)削減

この削減量は、40 フィート背高海上コンテナ  
約 95 台分の体積に相当

## 浮遊粒子状物質(SPM)排出量



ペットボトル  
約 8,100 個分

SPMを  
約 0.8t/年  
(約5%)削減

この削減量は、500ml のペットボトル  
約 8,100 本分の体積に相当



# 効果 交通事故ゼロを継続中

瑞穂野団地入口交差点は、立体化着手前に死傷事故が多発していたため、「魔の交差点」と呼ばれていた他、死傷事故率が675件/億台km(レッドゾーン区間に該当)にもおよび、重点的な対策が必要な箇所として、安全見える化プランに位置づけられていました。

瑞穂野跨道橋が6月30日に開通してから、8月8日までに40日間死傷者事故ゼロを継続しています。

## 開通前の状況

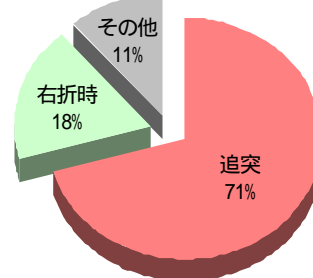
瑞穂野団地入口交差点は「魔の交差点」死傷事故率が675件/億台km(レッドゾーン区間に該当)

### 類型別事故件数

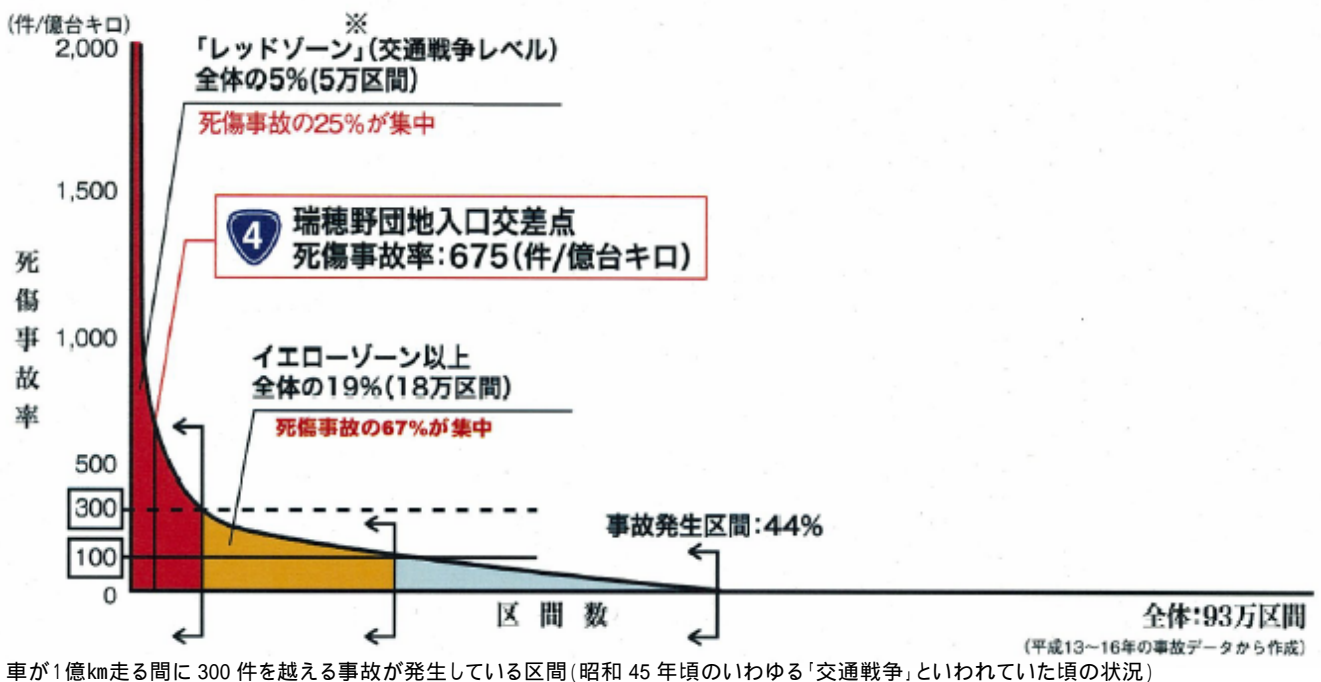
事故発生状況(H12~15)

事故類型	事故件数
追突	31
右折時	8
その他	5
合計	44

7割が追突事故



### 全国(国道・都道府県道)の死傷事故率

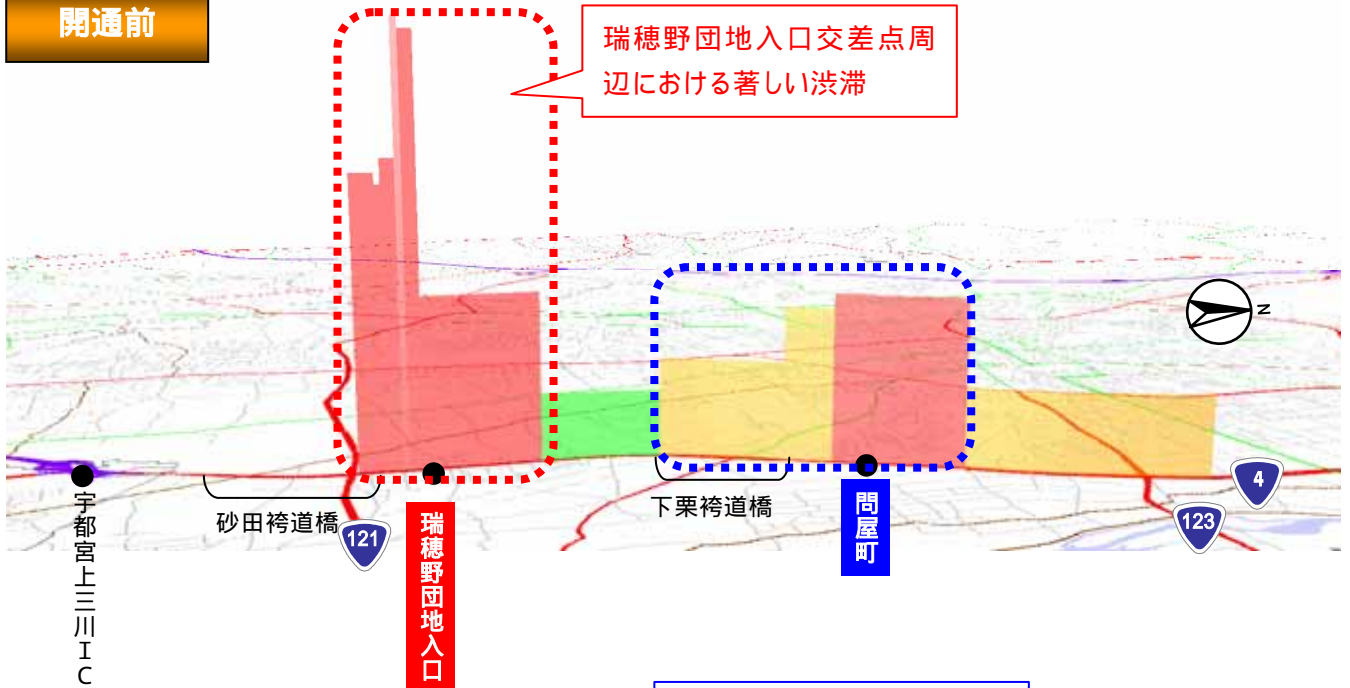


瑞穂野跨道橋開通後、  
8月8日現在、交通事故ゼロを継続中

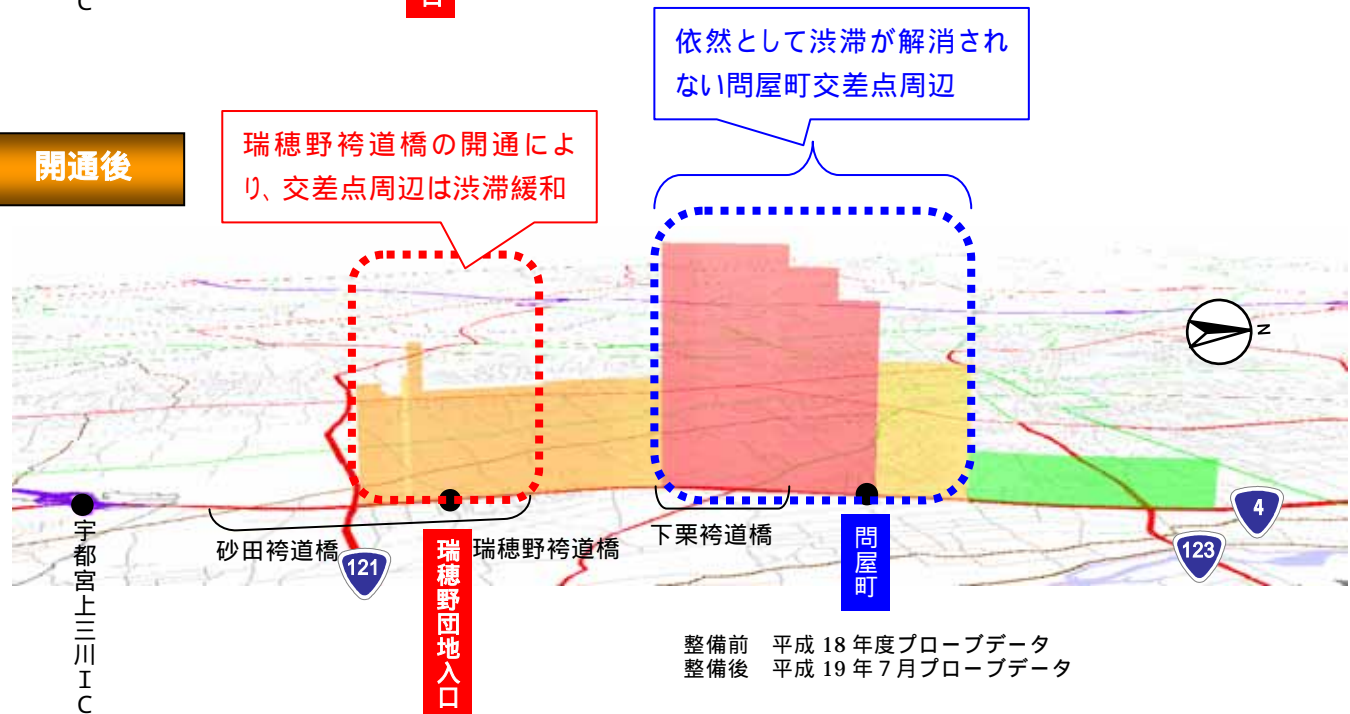
## 今後の取り組み

依然として渋滞が解消されていない、隣接する問屋町交差点についても、引き続き対策を実施し、渋滞解消を図ってまいります。

### 開通前



### 開通後



今後も、データ分析を踏まえ、解決を急ぐべきところから重点的に対策を実施していきます。

## 開通区間の概要

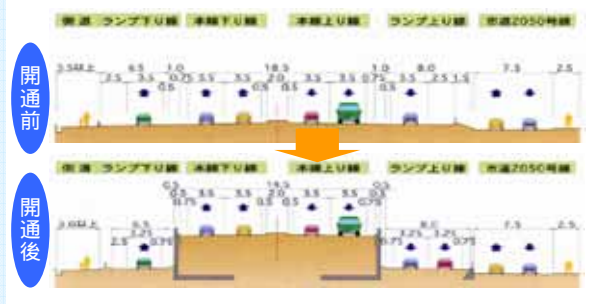
新4号国道は、**国道4号の慢性的な交通混雑を解消するために整備された大規模バイパス**で、埼玉県越谷市から栃木県宇都宮市に至る総延長80.5kmの主幹幹線道路です。瑞穂野跨道橋は、商業施設が展開するなど、近年発展が著しい宇都宮市南部における**交通渋滞の緩和、安全性向上**を目的として整備が進められ、**6月30日に開通**しました。

### < 開通区間の概要 >

#### 計画

道路諸元	区間	うつのみやししもくわじまち 宇都宮市下桑島町 ~ にしおさかべまち 西刑部町
	延長	L=0.62km
道路規格	規格	第3種第1級
	設計速度	80km/h
	員	立体部 W=19.5m (4車線) ランプ部 上り線 W= 8.0m (2車線) 下り線 W= 6.5m (1車線)

#### 標準断面図



#### 平面図



### 瑞穂野団地入口交差点 立体化イメージパース

